

除草軽減緑化工法

# BOSOシステム

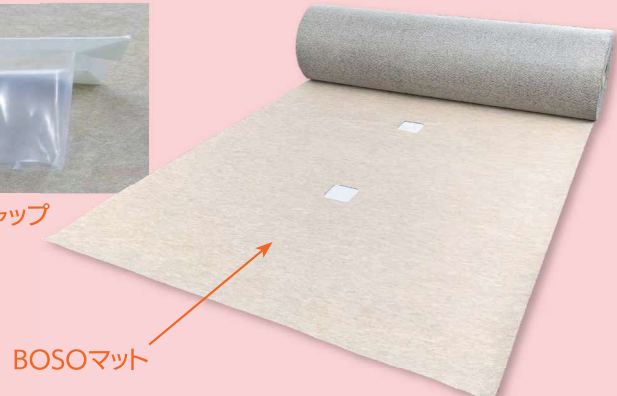
国土交通省 NETIS  
CB-090035-A  
(掲載期間終了)

『BOSOマット』と『BOSOキャップ』によって雑草の発生を抑制しながら、『グランドカバープランツ』による緑の景観を形成する除草軽減型の修景緑化工法です。

## 植栽状況 (例：ヒメイワダレソウ)



BOSOキャップ



BOSOマット

## 特長



- グランドカバープランツによる緑の景観を維持します。
- 2重の防草効果により、雑草の発生を大幅に抑制します。  
防草効果 1：BOSO マットが雑草の発生を面的に抑制  
防草効果 2：BOSO キャップが隙間からの雑草発生を抑制
- 除草作業の軽減とトータルコストの軽減が図れます。
- システム化により施工性と施工精度が向上します。



施工後 3ヶ月

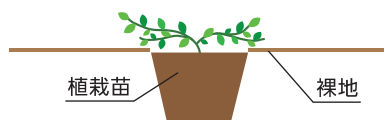


施工後 5ヶ月

※ 現在のBOSOマットは、色をグリーンからベージュに変更しています。

## BOSOシステムの雑草抑制効果

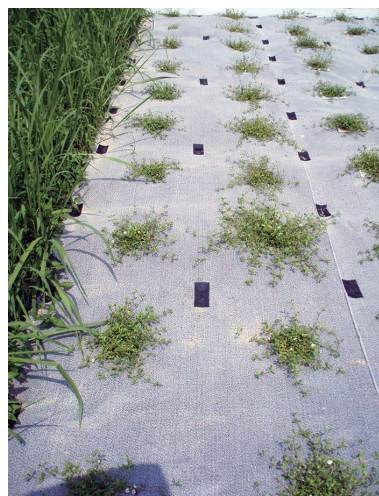
①直植え  
(マット、キャップ両方無し)



②マット開口部に植栽  
(マット有、キャップ無し)



③ BOSO システム  
(マット+キャップ使用)



『③ BOSOシステム施工区』が、雑草の生育を最も抑制しています。

※ 現在のBOSOマットはベージュ色ですが、雑草抑制効果は同様です。

## BOSOマットの特長

- 高い引張強度・・・高い引張強度によって、**雑草の貫通を防止**します。
- 優れた耐候性・・・耐UV機能によって**長期間防草効果**を発揮します。
- 高い遮光率・・・高い遮光率によって、**シート下の残存種子・植物の生育を抑制**します。  
(施工実績において、耐用年数 15 年を確認)
- 優れた柔軟性・・・柔軟性に富み、地山とよくなじみ、シートの浮き上がりによる**乾燥害を軽減**します。
- 施工作業の簡略化・・・事前に植栽箇所に穴を開けて出荷するため、施工現場での植栽箇所の位置出しや切り込み**作業を省略**することが出来ます。

## BOSOマット物性表

項目	単位	物性値	試験法
質量	g/m <sup>2</sup>	270	JIS L 1096準用
厚さ	mm	1.2	JIS L 1096準用
引張強度	たて	N/5cm	708
	よこ	N/5cm	
伸び率	たて	%	10.5
	よこ	%	
遮光率	%	99.88	JIS L 1055準用

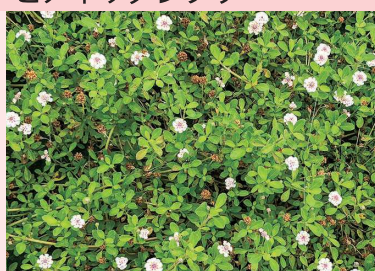
※ 引張強度、伸び率は平均値です。

## BOSOシステムの標準使用

名称	規格	材質
BOSO マット	幅 1.1m × 長さ 30m 色：ベージュ 植栽穴：2 株 /㎡ (1列配置、間隔50cm)	ポリプロピレンクロス (基布) に ポリエステル (綿) をニードルパンチした 2層構造
BOSO キャップ	9cmポット用 (固定用接着テープ付)	ポリエチレン

## 植栽植物の例

### ヒメイワダレソウ



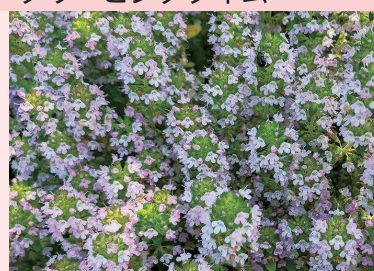
科名・分類：クマツヅラ科  
イワダレソウ属  
植栽可能域：関東以南  
植栽適期：3月下旬～10月中旬  
(夏季を除く)

### クラピア



科名・分類：クマツヅラ科  
イワダレソウ属 (改良種)  
植栽可能域：東北中部以南  
植栽適期：3月下旬～10月中旬  
(夏季を除く)

### クリーピングタイム

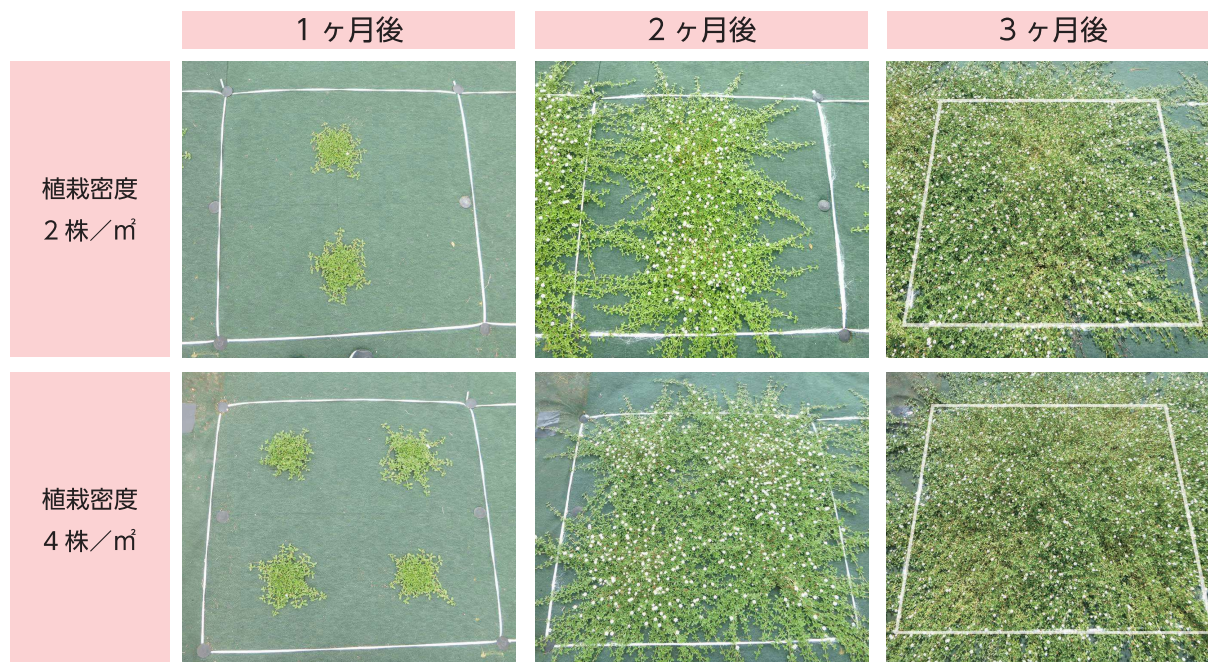


科名・分類：シソ科  
イブキジャコウソウ属  
植栽可能域：関東以北  
植栽適期：3月下旬～10月中旬  
(夏季を除く)

※ 1 植栽植物は、導入地域の気候や施工目的に応じて選定します。

※ 2 植栽密度は、2株/㎡を標準としておりますが、変更することも可能です。  
詳細は担当営業員にお問い合わせください。

### ● 参考：植栽密度と被覆速度について (ヒメイワダレソウの例)



※ 現在のBOSOマットはベージュ色ですが、被覆速度は同様です。

## 適応条件

- 対象土壌は土壌硬度23mm以下、礫含有率20%以下を標準とします。  
(上記以外で使用される場合は、土壌入れ替え等の検討をお願いします)
- 法面勾配 1:1.5よりも緩勾配での使用を標準とします。
- 日光や降雨が遮られる場所での使用は避けて下さい。

## 事前処理・維持管理

- 事前処理として、施工地の雑草除去（除草剤散布・刈り払い）を行って下さい。  
(雑草の侵入が著しい場合には、表土剥ぎ取りの検討をお願いします)
- 苗植え付け後、10日間～2週間程度は散水を行って下さい。
- BOSOシステムを施工しても、飛来する雑草の侵入を全て防止できるわけではありません。  
良好な景観を維持するために、雑草の定着状況に応じて、年1回～2回の除草を行って下さい。

- 【注意事項】
- 導入植物は施工地域での実績や環境等を考慮し、適切なものを選定して下さい。
  - 植物(苗)にはそれぞれ植栽適期がありますので、施工時期に注意して下さい。
  - 植物(苗)の在庫には限りがありますので、あらかじめ在庫状況の確認を行って下さい。

## 施工事例

### 植樹帯（植栽植物：ヒメイワダレソウ）

熊本県 道路景観整備工事



施工後 1 ヶ月



施工後 3 ヶ月

### 植樹帯（植栽植物：ヒメイワダレソウ）

熊本県 道路景観整備工事



施工直後



施工後 3 ヶ月

※ 現在のBOSOマットは、色をグリーンからベージュに変更しています。



ISO 9001 認証取得  
緑のぬくもりとロマンを語り続けたい

日新産業株式会社

〒501-6002 岐阜県羽島郡岐南町三宅3丁目224番地  
TEL 058-247-7529 FAX 058-247-7359  
<https://www.nisshin-sangyo.com>